



## Q

小5の息子は口下手で消極的。意地悪しないので友達はいませんが、パツとしません。積極的になれますか？

誰にも持ち味がありますから、無理に型にはめないで、良いところを認めてあげると自信につながります。

## A

### バラの木にはバラ

話下手で自信なさそうに見える。遊び友達はいるけれど、積極的に関わって遊んでいるふうでもない。誘われれば遊びに行くけれど、自分から声をかけるわけではない、といった感じでしょうか。

親御さんとしては、高学年になってもこういう性格だと損するのではないか、と思われるのですね。

確かに自信があつて積極的だと、生きていく上で得することも多いかもしれません。大人しくて内向的より、明るくて積極

的であることが世の中では評価されがちですから。

でも型にはめるのは子供にとつて酷です。否定されたように感じて、かえつて自信を失いかねません。バラの木にはバラの花が咲き、レモンの木にはレモンの実がなるように、その子の持ち味や良さがあるはずですよ。

### 個性は親が認めるもの

「意地悪しないので」遊ぶ友達はいるといふことです。友達には息子さんと一緒にいることを「よし」としているのです。人に優しく配慮できる子供さんなのでしょう。

これは子供の芯の部分です。成長につれて人としての表現方法は変わっても、芯の部分は個性として変わりません。それを認めて、個性として引き出してあげられるのが親御さんです。

成長につれて本人が「このままではまずい」と思うと、自覚して直そうとしたり、コミュニケーション・スキルを上達させたりすることで変えられます。

親御さんの理想像が子供にとつて幸せとは限りません。親が自分を愛し応援してくれていると感じることが自信になるのです。良い面をとらえてたくさん認めてあげてはどうでしょう。